



令和2年度鳴門教育大学小学校英語教育センターポットラックセミナー 「今、求められる指導と評価の在り方」～新学習指導要領全面実施一年を振り返って～

本年度の小学校英語教育センターポットラックセミナーを、令和3年2月6日(土)、本学総合学生支援棟3階 F会議室にて開催しました。当日は、小学校の先生方を中心に、中学校や高等学校、教育委員会の先生方及び大学院生など多くの方にご参加いただきました(38名)。



小学校では、本年度から新学習指導要領が全面実施となり、新しい外国語教育がスタートしました。目標や評価に関して大きな改訂が加えられた今回、本センターには、教科としての指導や評価に関するご相談が多く寄せられており、学校現場での戸惑いが伺えます。

こうした状況を踏まえ、今回のポットラックセミナーは、「今、求められる指導と評価の在り方～新学習指導要領全面実施一年を振り返って～」と題し、第一部では、先進的にお取組を進めておられるお二人の先生から実践報告をいただき、第二部には、登壇者やフロアの先生方とともに、「求められる評価の在り方」について、意見交換し考え合う時間をもちました。

鳴門教育大学附属小学校の 岡 朋哉 先生からは、「自律的な学習者を育てる授業を目指して」というテーマで、4年生の単元「徳島県の良さを伝えるプレゼントを紹介しよう」についてご発表いただきました。中でも、自己学習力を育成する授業構成上・展開上の支援として、① 課題解決に向かい、考えをもつ場面 ② 自己の考えを深める場面 ③ 学習を振り返る場面 を意識したご実践からは、児童を主体とした深い学びを実現する指導の在り方について改めて考える機会をいただきました。



【岡 朋哉 先生】



【鈴江 裕子 先生】

次にご登壇いただいた徳島市新町小学校の 鈴江 裕子 先生からは、「外国語・外国語活動の評価について～パフォーマンス評価を中心に～」というテーマでご発表いただきました。3年生から6年生までの段階的な到達目標や評価計画の作成、さらには、ルーブリックを活用したパフォーマンステスト等について、児童の映像とともに具体的にご紹介くださり、これからの実践に向けて多くの示唆をいただきました。

また、指導と一体化した評価の重要性や、評価を学習改善や指導改善につなげることの意義について、改めて確認することができました。

ご参加の先生方からは「お二人の具体的なご実践から多くのことを学ばせていただきました」「評価についてのふわっとしたイメージが少し具体化されたように思います」「今日の学びを中学校英語科での指導に生かしていきたいと思います」などの声が寄せられました。今回のセミナーで共有させていただいた貴重な実践や成果、課題を踏まえ、本小学校英語教育センターは、地域の先生方と益々連携を図りつつ、小学校外国語教育推進に一層貢献してまいりたいと思います。大変お忙しい中、ご登壇くださり貴重な発表をいただきましたお二人の先生方、また、ご参加くださった皆様に心より感謝申し上げます。

(准教授 佐藤 美智子)



小・中英語教育研修への講師派遣

令和3年1月28日、徳島市福島小学校校内研修会にお招きいただき、「外国語活動・外国語科における指導と評価について」というテーマで研修をさせていただきました。

学習指導要領で示されている資質・能力を育てるためにどのような授業を目指すのか、活動をどう見取るのか、困っている子どもに対してどのように支援していけばよいのかといった「指導と評価」について、先生方とともに考える機会となりました。

スモールトークの活動体験では、自分の本当のことを伝えたり、短いフレーズを使って反応したりすることにより、会話が続くことを体験していただきました。また、目的・場面・状況により、表現の仕方が異なることも体感していただきました。「間違えたらどうしよう」という緊張感はなく、リラックスした雰囲気の中で、時折先生方の笑い声も聞かれました。授業においても、与えられた表現を正しく言うことに重きを置くのではなく、知っている言葉をなんとか活用しながら、「自分のことを伝えたい、相手のことを聞きたい」といった情意面を大切に育てていくことが、求められるコミュニケーションの力であると感じていただけたかと思います。

評価については、友達とやり取りしながら学びを調整していく子どもの姿を、ビデオクリップで観ながら考えていただきました。個々の見取りは、担任一人ではなかなか難しいとは思いますが、しかし、学級担任だからこそできる細やかな見取りや支援の手立てがあるはずで、そうした気付きを共有し、明日からの授業に少しでも役立てていただけたら幸いです。

(コーディネーター 竹内 陽子)



A



B

鳴門教育大学児童図書室内の キッズ・イングリッシュ・ライブラリーをご存じですか？

B



C

鳴門教育大学児童図書室内キッズ・イングリッシュ・ライブラリー Kids English Library (KEL)をご存じでしょうか。同ライブラリーは2019年4月にオープンし、児童図書館の開館日時である水・土・日・祝の13:00～16:00に利用可能です。おもには英語絵本の閲覧・貸出等のサービスを行っています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、同ライブラリーの利用を促すための宣伝を積極的には行えませんでした。ライブラリー内の蔵書の充実を図るべく、日本昔ばなしを含む60冊程度の絵本を新たに購入しました。みなさん、次の日本昔ばなしの日本語タイトルが分かりますか？



『The Monkey and the Crab』

『The Rolling Rice Ball』

『Grandpa Flower Bloom』

『The Grateful Crane』

※正解はKELに行ってみてね！

キッズ・イングリッシュ・ライブラリーについては、学校教員や保護者に英語絵本に関する情報を提供するだけでなく、子どもたちが英語に出会い、英語を体験する場として、また、本学学生が英語を通して子どもの体験や学びを支援する経験を得る場として、今後も継続・発展的に充実を図る予定です。上記のとおり、利用可能な日時は決まっていますが、ぜひお立ち寄りください。

(センター所長・教授 山森 直人)

